

日 時	令和6年6月6日（木）午後7時00分～午後8時30分
場 所	荒土まちづくり会館
出席者	46名

Q：質問 A：回答

1. Uターン者への支援について

Q：勝山のきれいな景観は、若い時はつまらなくても年を取ってからだとすごく魅力的に感じる。県外に出た若い人がある程度の年齢になった際、勝山に戻ってこられるような環境を整えてほしい。

A：人口減少対策には、子ども政策と並んで移住者やUターン者への支援が大切である。サポート体制を考えていきたい。

2. 都市計画について

Q：市の都市計画で用途地域が決められているが、住居地域に誰も入ってこない。いろいろ相談にいったがダメだった。また、集落の中にあちこちに空き家があり管理に苦労している。工場の空き地についても管理がなされていない。対応してほしい。

A：市内の空き家は500軒以上ある。危険度など区分しながら対応していきたい。都市計画に関する相談先がないということなら、建設課に来ていただければ対応する。

3. 女性活躍について

Q：幸せな勝山にするためには、女性に生き活きと活躍してもらうという観点が必要。子ども対策だけではなく、女性対策やお母さんへの支援も充実してほしい。北欧やニュージーランドを参考に取組みを進めてほしい。

A：市では多様な人が活躍できる風土を目指している。女性活躍の視点は素晴らしいと思うので、社会活動する女性をしっかりとサポートしていきたい。

4. 企業誘致について

Q：昔は、県外から戻って来た時に田んぼをしなくてはいけないという思いが強かった。今は田んぼを真剣にやっている人はほとんどおらず、勝山に帰ってくる理由がなくなっている。そのため若者が十分に稼げる職場が必要だと思う。産業団地の拡充や企業誘致を進めてほしい。

A：魅力的な働く場という視点では、小さくても自分のやりたいことをする起業のバックアップも含めて行っていきたい。市内の有効求人倍率が1.5を超えているが、市内企業の人材不足は続いている。新たな企業誘致は、既存企業の存続という面で不安に感じている。ただ、最後の大規模企業誘致があってから20年は経過している。勝山市の安全、交通アクセスなども考え、企業誘致に力を入れていきたい。

5. 渋滞対策について

Q：長期休暇時などは勝山インターからの道の渋滞がひどい。特に新保の交差点付近では、あの辺りで買い物して店舗の駐車場からなかなか出られない。信号のタイミングを考えてほしい。

A：いただいたご意見を受け止めて、警察が所管であるのでそちらに伝えたい。

6. 子育て支援について

Q：女性が活躍し頑張れるのは、子育てに力を貸してくれる家族や地域の支えがあってこそだと思う。

今、子育てに関する情報が多すぎて、どの情報を選んだら良いのか不安になっている方に対し、私たち保育士が力添えできたら良いし、子育てが終わった方が関われる手立てがあれば良い。また、若いお母さんたちが気分転換に子どもを連れて行けるようなところがあると助かると思う。旧野向保育園がそんな施設として活用できたらいいと思う。

A：公立保育園を廃止し、今後は民間の保育園・こども園をいかにバックアップし、就学前の子どもたちへサービスを充実させていくかが課題だと思っている。子育てをするにも、荒土の一つずつの集落で考えるのではなく、荒土全体で取り組む考え方ができると思う。ここは小学校、こども園、児童センター、まちづくり会館が比較的集中しているので、そういった方法ができると思う。保育園の空き施設の有効利用については民間利用を進めていく方針である。子どもが集まれる場所については、こども会館の整備も同時に進めていきたい。

7. フルデマンドバスについて

Q：買い物弱者が増えており、フルデマンドバスに期待している。市ではアンケートをとると聞いており、交通弱者の状況について把握されたら、フィードバックしていただきたい。高齢者が元気で住みよい勝山を目指してほしい。

A：地区社協が買い物支援に取り組んでおり感謝している。数年に1度総合計画の進捗状況のためにアンケートをとるので、その中で調査できると良いと思っている。フルデマンドは高齢者にとっても使いやすいシステムになるよう、希望を聞きながらやっていきたい。